



成井大介司教（新潟教区）による講演

3年ぶりとなった大阪教会管区（名古屋・京都・大阪・広島・高松各教区）司牧者研修会が、サクラファミリアを会場に、6月14・15日の両日、約120人の参加者で行われた。

国際経済が専門で信徒の浜矩子氏（同志社大学大学院ビジネス研究科教授）から「21世紀の地球経済と愛の讃歌としての経済活動をどう確立するか」をテーマに、成井大介新潟教区司教（カリタスジャパン担当）から「教皇フランシスコの呼びかけを司牧者としてどのように実践するか」貧しい人のための貧しい教会」をテーマに、それぞれお話しいただき、グループで分かち合いを行った。

経済学の父と呼ばれるアダム・スミスの「他者の喜びを喜び、他者の悲しみを悲しむ人びとの営みなり……」という考え方を元にした「浜矩子の経済活動三原則」として「経済活動は人間を幸せにできなければならぬ・不幸にしてはならない・人権を侵害してはならない」の3原則は、参加者にこれまでになく新たな視点を与えてくれるものであった。

また、第2バチカン公会議閉会後に司教40人が行った『カタコンベの誓い』の説明を皮切りに、2015年のシリア難民受け入れにあつたのヨーロッパの教会の状況を実例としてあげながら、教皇フランシスコがいう「貧しい人のための貧しい教会」について語った成井司教の話からは、日本においてもケアの文化を創り上げていく希望と課題を感じ取ることができた。

懇親会も含めて、司牧者たちが初めての出会いや再

会を喜ぶことができた2日間であった。「2年半ぶりに新幹線に乗りました」司牧者同士の集いを持つことができて嬉しかった」という参加者の声があり、「1泊2日では短すぎた」「1回の分かち合いでは話しきれなかった」という声も多く聞かれた。

「現代社会と向き合いながら福音の精神を生きたために」という研修会の副テーマをしみじみと味わいながら、参加者はそれぞれの現場に帰ることができた研修会となった。

（文 大阪教会管区司牧者研修会 担当司教 酒井俊弘）

第19回 教区宣教司牧評議会

いつでもキリストを中心に

各地区の信徒代表者の定例会議である本評議会。6月26日（日）14時、教区本部事務局に29人が集まり、シノドス（世界代表司教会議）への教区の取り組みについてふりかえり、分かち合った。

今回は、福音化本部・新福音化委員会から「シノドスの意見聴取担当チーム（以下、シノドス担当チーム）」のヌノ・デ・リマ神父およびメンバーが来られ、意見聴取のまとめと感想を伺った。感想の中には、若年層や外国籍の人びとからの回答が



▲会議室の中心に置かれた聖書とろうそく



司牧者による小グループでの分かち合いの様子

少なく、きっかけ作りの難しさを感じたという声があった一方、集まって祈りのうちに意見を分かち合うことの大切さが改めて示されたこと、回答者の教会への愛情が伝わってきて希望を新たにできた、といった声もあった。

その後、教区の今後の取り組みへの提案について、グループに分かれて検討した。グループは「今までの交わり」「外部との交わり」「これからの交わり」の3つの観点で分けられ、各グループからの発表を最後に行った。

初めて出会う評議員も多い中、グループに分かれる時にはシノドス担当チームの皆様が入ってくくださったこともあり、リラックスした雰囲気と共に祈りつつ、率直な意見交換がスムーズに行えたと思う。結果として、これからの教会のための多くの提案を分かち合うことができ、教区として推進する取り組みについて検討するための豊かな糧にもなった。

なお、今回は特に、主が共におられることを強調するために、会議室の中央に聖書とろうそくを設置し、はじめの祈りの時に朗読と点灯を行ったが、神様の御旨を求めて集まるといふ教会の基本的な姿勢が全体に伝わったのではないかと思います。

ご参加くださった皆様、今回ご協力くださったシノドス担当チームの皆様へ深く感謝しつつ、これからも教会のあらゆる活動の中に主が共におられることを忘れず、いつも祈りの精神によって働くことを心がけたい。

（文 教区宣教司牧評議会 担当司祭 大久保 武）



8
2022

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
時報 ☎06-6946-3223(直通)
TEL ☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆ 和歌山紀北教会献堂式
☆ 警備式大阪北地区姫路中EかわちB
☆ ラジオ信の時間ラジオ関西ニデラ神交
☆ カトリック中学校・高等学校入学案内
☆ 図書紹介
☆ 新しくなる典礼
☆ 生きる―難民移住者
☆ 平和旬間行事案内
☆ 7面
☆ 6面

『時報』原稿・
資料等の締切は
前々月末です。





和歌山紀北教会 献堂式 教会の母聖マリア聖堂誕生

6月4日(土)14時、酒井俊弘補佐司教によって和歌山紀北教会の新聖堂の献堂式が行われた。担当司祭のパウロ・セコ神父はじめ、10人の司祭が共同司式。当日は晴天に恵まれ、約270人が参列して聖堂の完成と奉献を祝った。

昨年6月に旧聖堂の解体工事が始まり、ちょうど1年後に新聖堂が完成。ミサの中ではまず竣工式が行われ、教区より設計・施工会社へ感謝状の贈呈と謝辞が述べられた。

続いて、参列者にとっておよそ一生に一度であろう献堂式が行われた。水の祝福から始まり、灌水で新聖堂そのものが洗礼を受けて神の民の一員となった。朗読台からは神のことばが読み上げられ、聖堂は神が語られる場に、また全面に聖香油が塗られて聖別された祭壇は、キリストそのものといえるようになった。式の最後には、キリストが万民を照らす光であることを示そうとそくが灯され、新聖堂はこの日をもつて「教会の母聖マリア」を

保護聖人にいただいた。聖体拝領後、小聖堂の聖櫃にご聖体が納められ、40人の信徒による聖歌「アヴェ・ヴェルム・コルプス」の歌声が聖体安置に花を添えた。

予想に反し、多くの人が参列して献堂の喜びとともにできたことに感謝しつつ「次の60年後もこの聖堂が今日のように人で溢れますように」と酒井司教は派遣の祝福の時に語った。聖堂の特長はゴシック様式の高い天井。通称「コウモリ天井」と呼ばれ、梁の交差部が尖塔状になっている。皆様、どうぞ巡礼にお越しください！

(文 和歌山紀北教会信徒)



東日本大震災追悼11周年祈念 東北の教会を訪ねて

昨年3月以来延期となっていた本巡礼。6月18〜20日(土)月、酒井俊弘補佐司教以下17人での旅が実現した。巡礼の参加者に感想をいただいた。

巡礼では7つの教会(花巻、遠野、金石、大船渡、一関、気仙沼、水沢)を訪ねた。大船渡、陸前高田、気仙沼では震災遺構や資料館を回り、大籠キリシタン殉教公園の資料館ではキリシタン遺物を見学した。

カリタス大船渡ベースでは、津波の時のビデオを見ながらお話を伺い、陸前高田の「海を望む場」で祈りをささげた。そこで保存さ

れた「奇跡の一本松」を見学。7万本の松林は津波で流され、この1本だけになったが、震災6年後から4万本の松が見事に植樹され、50年後の松林再生が待たれる。

気仙沼東日本大震災遺構・伝承館(旧向洋高校)では、語り部ガイドの案内で施設内を見学。津波の威力を目の当たりにし、震災遺構を遺すことの大切さを

痛感した。仙台教区第3地区は3人の司祭が9教会を、第4地区も同じく3人で7教会を担当しておられるそうだが、司祭が来られない主日は集会祭儀によって、いきいきと信仰生活を送っておられる信徒たちのお姿に感動した。

一関教会では佐藤守也神父が教会の歴史について、また水沢教会では高橋昌神父が後藤寿庵やペトロ岐部はじめ、奥羽地方における殉教者についてお話しくださった。

7つのカトリック教会、震災遺構、東北の殉教者のお



「陸前高田・海を望む場」で



▲ 東北巡礼
記録動画 ▼



話と、盛りだくさんで有意義な3日間であった。

東京カトリック神学院の院長職を終えて

松浦信行神父に聴く神学院の歴史

2009年、東京と福岡の神学院は「日本カトリック神学院」として合併したが、10年後に分離。神学生養成に12年携わり、そのうちの5年間、神学院院长として勤めた松浦信行神父に、神学院のこの十数年の歴史と最近までの様子について伺った。

再出発へ

私はこの3月末で東京カトリック神学院の3年間の院長任務を終え、サクラファミリアに赴任した。私的な理由と後任に席を譲らなければとの思いから、この3年にある程度の道筋をつけたと思っていた。

神学院合併当時

2009年に福岡と東京の神学院が合併した時も、私は東京の神学院の責任者だった。その時は10年以上かけて東京と福岡のスタッフの交流から、準備万端で始まった。東京は「養成者不足」、福岡は「資金と講師不足」という互いに欠点を補いあう形の合併であったわけだ。

再出発に際して、私はせっかくの合併の経験があることを生かして、東京と福岡それぞれの神学院の良さを合わせた神学院の構築を考えた。

東京の神学院の良さは「社会の動きに接することが身近な環境」と「教会の雰囲気(そのために司牧実習を重視した)」そして学生紛争などを経験してきたことからの「自己養成の雰囲気(このことはこれからとても大事になっていくと思われる)」である。それを新たにスタートした東京の神学院の基盤として目指した。

福岡の神学院の良さは、スタッフの「共同体性」である。院長はまとめ役で、スタッフがそれぞれ



(文) サクラファミリア
松浦信行神父

姫路中ブロック

姫路教会において5日(日) 11時から姫路中ブロックの堅信式が前田万葉大司教の司式で行われた。赤窄富夫神父(ブロック協力)、アルマンド・ロメロ神父(加古川)、ジュドネ・トンバ・ディバ神父(姫路)が共同司式した。受堅者16人は全員、姫路教会の信徒だったが、堅信準備中から地区の他教会の方やシスターからもアドバイスをいただき、当日も多くの人の協力と祈りに支えられて実現した喜びの式となった。前田大司教が詠んだ句は「聖霊の風と神の子櫻若葉」。聖霊降臨の時の弟子たちのように、神のいぶきを受けた受堅者たちが言葉と行いを通して、キリストをあかしていく人になるように、信仰を守り伝えることができるようにと願った。



受堅者の感想▼「幼い頃は両親に連れられて、ミサや教会学校にも参加していましたが、中学生になると日曜も学校の部活動があつて教会からは足が遠のいていました。そんな中、堅信のための勉強会で再び教会とつながり、信仰について考える機会を得たことをうれしく思います。……これからは神の愛を忘れず、キリスト者として正しい行いをしたいと思えます」。

大阪北地区

聖霊降臨の日、5日(日) 14時から大阪北地区(大阪梅田、関目、今市、大東、門真、香里、枚方)の堅信式が香里ヌヴェール学院で行われた。コロナ禍の影響で合同堅信式を行うのは4年ぶり。受堅者は54人で代父母と親族250人が参列した。主司式は酒井俊弘補佐司教。長崎 壮神父、エリック・パウチスタ・デ・グスマン神父、昌川信雄神父、竹延真治神父、ハイメ・シスネロス神父、梅崎隆一神父が共同司式。朗読や共同祈願、奉納などは受堅者が役割を快く引き受け、積極的に典礼に奉仕した。説教の中で酒井司教は外国籍の保護者に配慮し、スペイン語と英語でもメッセージを送った。堅信が「教会へのさよなら」の秘跡にならないようにとの教皇フランシスコの言葉を引用し、受堅者の信仰をまず家族が成長させるよう、そして受堅者にも祈りの人となるようにと語った。



主催者の感想▼「式後の受堅者の喜んだ顔から恵みの大きさを感じました。幼児洗礼の子どものたちの保護者は特に、感慨無量のようにでした」。

姫路中ブロック・大阪北地区・かわちブロック堅信式

聖霊の風

6月は教区内で3つの堅信式(姫路中ブロック、大阪北地区、かわちブロック)が行われた。各地の喜びの声を伝える。

かわちブロック

12日(日) 11時、かわちブロック(布施、八尾、枚岡)の合同堅信式が八尾教会で行われた。酒井俊弘補佐司教の司式。受堅者は布施1人、枚岡6人、八尾16人。聖霊の恵みをいただく堅信の秘跡により、一つになったような気がした。司教の説教の通り、受堅者たちが受けた按手は使徒たちの時代からずっと受け継がれてきたもの——司教による按手と聖なる油の塗油は絶えず伝わってきた、私たちキリスト者の信仰のしるしだから。人数制限はあったが、1階と2階の聖堂は満杯になり、これからそれぞれの道で神様との関係を深めていき、信仰を成熟させていく受堅者たちのために祈った。

受堅者の感想▼「堅信の恵みを受けて心が満たされる幸せな思いとともに、大人の信仰を持つて生きていくことへの思いを新たにしました。聖霊の微かな働きに注意を向け、自分の意思でより良い行動を取れるように歩んでいきたいです。私は弱い人間ですが、堅信のしるしは靈魂に残るとのことに勇気を持ち、これから大人の信者として生きていきたいです」。「コロナ禍でも、堅信式ができてとても嬉しかったです。これで、大人への一歩を踏み出せたかなと思っています」。



『ラウダート・シ』の呼びかけに答えて

北須磨教会での小さな応答

教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ——ともに暮らす家を大切に(2015年)』の発表から始まった「ラウダート・シ週間」。2022年のテーマは「ともに耳を傾け、ともに歩もう」で、5月22～29日に開催された。北須磨教会では最終日の29日(日)にマリスタ教育修道士会のBr. 呉善根の呼びかけで、回勅を学び、祈り、実践するための小さな集いが開かれた。

ミサ後、集まった老若男女15人ほどを前に、Br. 呉は自ら作った飾り文字の「LAUDATO SI」のタイトルを背にして、回勅の中の「わたしたちの地球のための祈り」で集いを始めた。2015年の回勅発表以降、世界で始まった動き「ラウダート・シ運動」、そして毎年行われる「ラウダート・シ週間」での全世界のさまざまなアクションを紹介された。私たちのこの小さな集いも、そのアクション・リストに加えられていることが報告されるとどよめきが起きた。

Br. 呉は「エコロジー(生態学・自然との調和を目指す考え方)」の「エコ」の語源はギリシャ語の「オイコス(家)」であることを説明。私たちに今求められているのは「エコロジカル(生態的)な回心」であることを力強く呼びかけられ、久しぶりに「オイコス(家庭・教会)」という言葉に耳にし、目を覚まされた心持ちがした。

ブラザーによる講話の後、小さなワークショップが行われた。毛糸の玉で参加者一人ずつが互いの名前を呼んで結び合うというもの。その1本でも切れると悲しく失われた感じがすること、しかし再び結ぶこともできることをワークショップで体験し、私たちは互いに結ばれた「オイコス」であることを実感できた。

集いの最後には、教皇様の呼びかけに「ともに耳を傾け、ともに歩もう」と、これからも月1回程度の集まりを持つことを約束し、皆で「被造物とともにささげるキリスト者の祈り」を祈って終えた。(文 北須磨教会信徒 平尾享三・孝子)





司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでもらいたい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、中島貴幸神父（オプス・デイ属人区）が担当。

中島貴幸神父から
この二冊



『道』〈新装改訂版〉（聖ホセマリア・エスクリバー著、新田壮一郎訳、教友社、2021年、税込1300円）

キリスト者にとつて
日々の祈りは心の呼吸のよ
うなもの。では、どのよう
に祈れば良いのでしょうか？
念^{ねん}禱^{たう}を始めることを
お勧めします。毎日、時間
を決めて、神様と二人きり
で語り合うひと時を持つ
のです。でも、何について語
り合うのでしょうか？ 念
禱を始めた人が最初に経験
する困難は、考えることが
なくなつて退屈に感じるこ
と。

そこで、念禱の手引きと
して、『道』を推薦します。

「どう祈ればいいのか分からないというのか。神の御前に身を置きなさい。そして、『主よ、祈り方が分かりません』と申し上げ始めた瞬間に、確実にあなたは祈り始めているのである」(道九〇)。

難しく考えず、本書の短い考察の中から、関心のあ
るものを選びながら読み、
そして、神様と語り合いま
しょう。きつとあなたの祈
りに刺激を与えてくれると
同時に、生き方を根本から
見つめ直すヒントを見つける
ことでしょう。



『世界は善に満ちている』
トマス・アクィナス哲学講
義』(山本芳久^{よしひさ}著、新潮社、
2021年、税込1760
円)

多くの若者に読んで欲しい一冊は、『世界は善に満ちている』です。著者の山本芳久先生は、東京大学で聖トマス・アキナスの『神学大全』を教えるカトリック信徒です。

著者自身が語っています。「二冊の書物を読んでも人生が変わる。本当にそんなことがあるだろうか。（……）筆者にとつて最も決定的であつたのは、中世ヨーロッパの哲学者トマス・アキナスの『神学大全』との出会いだ。20歳のときにこの書物に出会わなかったならば、筆者の人生観や世界観は全く異なるものに

なっていたであろうし、哲
学研究者という職業を選ん
ではおらず、書物を書いた
りもしていなかったかもし
れない」。

本書の簡潔にして鋭い解説は見事です。聖トマスとの感情論について、学生との対話という形式で進められる丁寧な説明は、読み進めるだけで、自己の感情を見つめ直すことにつながります。その上、哲学をする楽しみさえも教えてくれていると思います。そして、タイトルにある『世界は善に満ちている』を納得すると、世界に対する見方も、大きく変わることでしょう。



次回は、高橋 聡神父様
(明石教会) です。

 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
若者の読書感想文募集

① 年齢は35歳まで。カトリック信者、もしくはカトリック教会と何らかの関係がある方（カトリック校や諸施設の在籍者又は卒業生、保護者、関係者など）。
② 感想は400字程度。
氏名、所属、顔写真（自由）を添えてメール（jiho@osaka.catholic.jp）が郵便にて送付（掲載にあたり編集する場合あり）。
③ 感想を送つてくださった方全員に教区オリジナルしおり（4枚組）を進呈。
たくさんのご投稿をお待ちしています。



ラ ジ オ
信仰の時間

聖霊降臨のビッグバン

ジョヴァンニ・デリア神父
(尼崎教会主任、6月5日放送分)

「聖霊降臨」はクリスマスと復活祭に次いで、三番目に大きいキリスト教のお祝いですが、一般の人にはあまり知られていません。父と子と違って、聖霊をイメージすることは少し難しいからかもしれません。聖書には聖霊を表すために3つのイメージが出てきます。「飛ぶ鳩」と「燃える火」と「風」です。これら3つはどうしても抽象的になりやすいものです。しかしこの説明では、聖霊降臨がよく知られていない理由として、あまり納得できないかもしれません。

聖霊降臨は私たちキリスト者にとって大切なお祝いです。クリスマスは可愛らしくロマンチックなお祝い、復活祭は大きな苦しみを乗り越える喜びの祝いです。そして、聖霊降臨はイエスの弟子が歩み出すためのお祝いです。

クリスマスと復活祭は、御父がイエスを通してどのように救いの計画を実現したかを表します。聖霊降臨は、どのように聖霊が降り、イエスの弟子が歩んだかを教えてください。そして同じように行動するには私たちはどうすればいいのかを考えさせてくれます。

しかし私たちはなぜ、すぐに行動できないのでしょうか？ 2つのコンプレックスがその理由として考えられます。一つは「怠惰」です。これは聖書の中で一番古いものです。

神様は天地を創造した時、御自分の似姿として人間を造りました。アダムとイヴです。神様は2人に何でもお与えになり、素敵なエデンの園に住まわせました。園のどの木からも取って食べることを許しましたが、エデンの真ん中にある善悪を知る木から食べることは禁じます。アダムとイヴは約束を守り、幸せに暮らしていました。しかしある日、イヴは禁止された木の実を食べるように蛇から誘惑を受けます。誘惑の言葉は「それを食べると目が開け、神のように善悪を知る者となる」でした(創世記3・5参照)。つまり、働くことも努力することもせずに、一瞬で神様のようになれるという誘惑です。人間はいつも、怠けたいという気持ちをどこかに持っています。アダムとイヴのように、木の実を食べるだけで結果を得たいと思ってしまうのです。反対に、聖霊は私たちに働き続けることを勧めています。そして、どんなことであっても実現するためには、忍耐が必要だとも言っています。魔法の杖はどこにもありません。たまに頑張るのではなく、行動し続けることで実現へと近づくのです。

二つ目は「社会の基準」というコンプレックスです。一例をあげます。1958年に教皇ピオ12世が亡くなってから、カトリック教会は新しい教皇を選出するのに時間がかかりました。二人の有力候補者から、一人に絞ることがどうしてもできなかったのです。最終的には他の者を教皇として選び、次の機会に有力候補者から選ぶつもりだったそうです。この時そのようにして選ばれたのが、教皇ヨハネ23世でした。周りの人は、ヨハネ23世が何か新しいことをする人とは思っていませんでした。これまでどおり教会を維持していくのだらうと思っていました。しかし、後に第2バチカン公会議を始めたのはヨハネ23世でした。社会の基準という立ち位置から見れば、高齢だった教皇は何も大きなことはし

ないだろうと思われていました。しかし彼は結果的に、二千年のカトリック教会の歴史の中で最大の変革を実現しました。

聖霊の働きは、社会の動向や基準と全くちがいます。社会の基準からは「何もできない」「何もしない」と考えられている人を通して大きな感動が実現します。聖霊はいつも、私たちの思いがけないところで働いています。今でも隠れたところ、見えないところで世界の中で神の国を実現しようとしています。私たちは神に従えば、大天使ガブリエルがマリア様に告げた通り「神にできないことは何一つない」ことを実感できるでしょう。

最後にもう一つのイメージをお伝えします。聖霊降臨はビッグバンのようなものです。その日から教会の上に聖霊の贈り物が与えられました。そして聖霊を通して、私たちは自分のコンプレックスを乗り越えることができます。その聖霊の注ぎは止まることなく、ずっと続いています。

福音によると、聖霊の働きの一つは「信者の未来への原動力」です。ですから私たちは、キリスト者として恐れることなく、こころを開いて聖霊の働きに従えば、想像できないぐらいの素晴らしいことができます。聖霊の自由な働きをいつも祈り求めましょう。



毎週日曜日 5:50 ~ 6:00AM 放送

8月担当：^{チェジュヨン}崔周永 神父

ABC ラジオ (朝日放送) AM1008/FM93.3
 スマホアプリの ^{ラジコ}radiko でも聴けます。



淳心学院中学校・高等学校

キリスト教の精神に基づいて、人格教育、宗教教育を行い、グローバルな視野を持ち、知的活動を通じて社会に貢献できる人間を育成する中高一貫男子校です。
モットー：同心同意



<説明会> 12:15～13:30
9/3(土) 10/8(土)
11/5(土) 11/26(土)

<オープンスクール>
9/23(金・祝) 9:00～11:30
*いずれも要予約 (HP)

<お問合せ・資料請求>
〒670-0012 姫路市本町68
TEL.079-222-3581
<http://www.junshin.ed.jp/>



賢明女子学院中学校・高等学校

1951年創立。姫路城を仰ぎ見る緑豊かな文化ゾーンに位置する、女子校です。
モットー："The Best"



<中学 学校説明会> 8/27(土) 9:30～11:30
<中学入試説明会> 10/1(土) 10/30(日)
9:30～11:30

<高校入試説明会> 12/4(日) 9:30～11:30
<高校オープンスクール>
8/27(土) 13:30～15:30

<お問合せ・資料請求>
〒670-0012 姫路市本町68
TEL.079-223-8456
<https://www.himeikenmei.ac.jp/>



愛徳学園中学校・高等学校

自ら考え、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性に育てたい



<学校説明会> 10/22(土) 10:00～12:00
公開授業・学校説明・校内見学など

<中学校入試説明会>
11/6(日) 9:30～12:00 プレテストなど
11/19(土) 10:00～12:00 プレテスト解説など

<高校入試説明会>
12/3(土) 10:00～12:00 入試傾向と対策

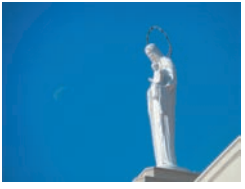
<お問合せ・資料請求>
詳細は、愛徳学園ホームページをご覧ください。
〒655-0037 神戸市垂水区歌敷山3-6-49
TEL.078-708-5353 <http://www.aitokugakuen.ed.jp/>





神戸海星女子学院 中学校・高等学校

一人ひとりが神に愛される存在であることを認識し、同じく神に愛される存在である他者を理解し、思いやり、共に協力し合う心を育てることを目指しています。
校訓：真理と愛に生きる



<説明会> (要予約) 14:00～15:30
10/1(土) 11/5(土)

<お問合せ・資料請求>
〒657-0805 神戸市灘区青谷町2-7-1
TEL.078-801-5601 <https://www.kobekaisei.ed.jp/jr-high/>



学校法人 上智学院 六甲学院中学校・高等学校

恵まれた環境の中で、“生徒が生徒を育てる”学校です。
校訓：For Others, With Others
“他者のために、他者とともに”



<入試説明会>
10/8(土) 午前
10/29(土) 午後
11/12(土) 午後

<お問合せ・資料請求>
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町2-4-1
TEL.078-871-4161 <http://www.rokko.ed.jp/>



小林聖心女子学院 中学校・高等学校

神の愛を受けたかけがえない存在として、使命感をもって、よりよい社会を築くことに貢献する賢明な女性の育成をめざします。



<説明会>
10/29(土) 11/12(土) 9:30～12:00
予約不要

<お問合せ・資料請求>
〒665-0073 宝塚市塔の町3-113
TEL.0797-71-7321
<http://www.oby-sacred-heart.ed.jp>



仁川学院中学・高等学校

和を尊び、すべてに善を行う人、つまり、キリストが教える、人をゆるす崇高な心と奉仕の精神をもって生きる人の育成をめざします。
校訓：和と善



<中学校入試説明会・授業体験会>要予約
10/15(土) 9:00～12:00 (授業体験会を含む)
11/27(日) 9:00～11:00 (プレテストを同時開催)

<中学校プレテスト>要予約 11/27(日) 8:00

<中学校入試直前相談会> 12/10(土) 9:00～12:00

<高校入試説明会>要予約 10:00～12:00
10/22(土) 11/5(土) 11/19(土)
11/26(土) 12/3(土) 12/10(土)

<オープンスクール>要予約 8/27(土)
中学：9:00～12:00 高校：10:00～12:00

<中学校 学校見学会・相談会>要予約
9/13(水) 9/14(木) 9/15(木) 10:30～16:00
11/7(月) 11/8(火) 11/9(水) 10:30～17:00

<お問合せ・資料請求> 〒662-0812 西宮市甲東園2-13-9
TEL.0798-52-0551 <http://www.nigawa.ac.jp>



百合学院中学校・高等学校

文部科学大臣表彰に輝く先進のキャリア教育、丁寧な個別指導と豊富な推薦枠で、第一志望合格を実現
校訓：純潔と愛徳



<学校説明会>*要申込
中学・高校:11/12(土) 9:30～11:30
中学:10/16(日) 13:30～15:30 高校:12/10(土) 14:00～16:00

<中学・高校個別説明会>*12/16・17のみ要申込み
10/29(土) 11/26(土) 12/3(土) 10:00～12:30
12/16(金) 9:00～20:00 12/17(土) 9:00～17:00

<オープンスクール>*要申込
中学・高校9/24(土) 9:30～11:30 高校10/16(日) 13:30～15:30

<中学・高校クラブ体験会>*要申込
8/6(土) 8/27(土) 9:00～11:30

<中学校プレテスト>*要申込 9:45～12:00
第1回 10/16(日) 第2回 11/5(土)

<お問合せ・資料請求> 〒661-0974 尼崎市若王寺2-18-2
TEL.06-6491-6298 <http://www.yuri-gakuin.ac.jp/>



アサンプション国際 中学校高等学校

英語イメージ教育、PBL (課題解決型授業)、ICT教育の3つを柱とした21世紀型教育を大阪でいち早く導入。「世界に貢献する人の育成」を目指し、未来社会にも対応できる力を育みます。
モットー：誠実・隣人愛・喜び



<中学校説明会> 9/17(土) 10/15(土)
<高校説明会> 10/15(土) 11/12(土)
<高校説明会・入試説明会> 12/3(土)
<イブニング説明会(中学・高校合同)>
①10/25(火) ②11/22(火) ③12/9(金) ④12/21(水)
⑤12/17(土) ⑥12/18(日) ⑦16:30～17:30
<中学校プレテスト> 11/5(土) 11/12(土)
<中学生対策セミナー> 12/3(土) <高校入試対策セミナー> 12/17(土)
<オープンスクール> 中学・高校 8/27(土) 高校 9/17(土)

<お問合せ・資料請求> 〒562-8543 箕面市如意谷1-13-23
TEL.072-721-3080 <https://www.assumption.ed.jp/jsh/>



香里ヌヴェール学院中学校・高等学校

カトリックの人間感・世界感に基づく教育をとおして一人ひとりを大切にしながら真に平和な世界を築くことに積極的に貢献する人を育てています。



中学校 <オープンスクール> 8/27(土)
<入試説明会> 9/24(土)
<プレテスト&解説会> ①10/16(日)
②11/23(祝・水)

高等学校 <オープンスクール> 9/10(土) 10/22(土)
11/19(土)

<入試説明会> 12/10(土)
※お申込みは本校HPよりお願いします。

<お問合せ・資料請求> 〒572-8531 寝屋川市美井町18-10
TEL.072-833-3344 京阪本線「香里園」駅下車徒歩8分



大阪信愛学院中学校・高等学校

2022年男女共学スタート
「キリストに信頼し、愛の実践に生きる」の建学の精神のもと、一人ひとりの能力の育成に取り組んでいる。
校訓：一つの心、一つの魂



<高校入試説明会>
11/19(土) 12/3(土) 12/11(日)

<高校オープンキャンパス>
8/27(土) 10/1(土) 10/22(土)
11/12(土) 11/26(土)

<中学オープンキャンパス>
8/27(土) 10/1(土) 11/13(日)

<中学校プレテスト>
10/30(日) 11/23(水・祝)

※すべて事前予約制

<お問合せ・資料請求> 〒536-8585 大阪市城東区古市2-7-30
TEL.06-6939-4391 <http://www.osaka-shinai.ac.jp>



ヴェリタス城星学園高等学校

未来のわたしにワクワクしよう！
教育理念の「Assistenza」はイタリア語で「ともにいる」を意味します。私たちはあらゆる場所で「ともにいる」存在です。少人数制の行き届いた環境で個々の意欲と力を伸ばします。生徒が能動的に学び、成長につながる多様な経験を積むことが出来る教育環境、サポート体制を整えています。



<入試説明会>
9/17(土) 10/29(土) 11/26(土)
いずれも14:00

<入試対策セミナー>
12/3(土) 13:00

<オープンスクール>
8/27(土) 10:00 10/15(土) 14:00

<お問合せ> 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-23-26
TEL.06-6941-5977 <http://www.josei.ed.jp/>



大阪明星学園 明星高等学校・中学校

カトリック精神に基づく人格教育に重点をおき、社会の核となって奉仕する人物<明星紳士>の育成にあたる。
モットー：よき明星紳士たれ！



<説明会> 会場は本校講堂
中学:10/8(土) 11/6(日)
12/3(土)*プレテスト同時開催
高校:10/29(土) 11/20(日)
12/10(土)

※要予約
詳細は本校HPをご覧ください。

<お問合せ>
〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5-44
TEL.06-6761-5606 <http://www.meisei.ed.jp>



大阪星光学院中学校・高等学校

「共生」の精神を教育の柱とし、大阪市内の校舎以外に黒姫(長野県)・南部(和歌山県)の学舎を利用して、知徳体を磨く全人教育を進めている。
校訓：世の光であれ



<中学校説明会> 14:00～ 講堂・大教室
10/1(土) 10/8(土) 11/12(土)

<高校説明会> 14:30～ 会議室
10/8(土) 11/12(土)

<お問合せ>
〒543-0061 大阪市天王寺区伶人町1-6
TEL.06-6771-0737
<http://www.osakaseiko.ac.jp>



賢明学院中学高等学校 男女共学校

「関西学院大学系属校
理系4学部直結」



<中学プレテスト>
10/16(日) 12/4(日) 9:00

<中学個別進学相談会>
10/22(土) 12/10(土)

<高校入試説明会>
10/15(土) 11/19(土)
12/17(土) 13:30

<中学・高校オープンキャンパス>
9/10(土) 9:30

<お問合せ> 〒590-0812 堺市堺区霞ヶ丘町4丁3-30
TEL.072-241-1679 <https://kenmei.jp>



和歌山信愛中学校 高等学校

スモールステップによる育成型女子教育
充実の英語学習環境 (3年間で英検準1級に14名合格)



<入試・学校説明会>*全て本校で実施
11/5(土) 中学 10:00 高校 14:00
12/3(土) 高校 14:00 } 入試の傾向と対策集配布
12/10(土) 中学 14:00 }

<プレテスト>*要web申込
9/10(土) 中学 8:30 10/22(土) 中学・高校 8:30
(保護者対象説明会実施)

<個別相談会>
12/18(日) 中学・高校 10:00～15:00

<お問合せ>
〒640-8151 和歌山市屋形町2-23
TEL.073-424-1141 <http://www.shin-ai.ac.jp>



2023年度 入学案内

カトリック中学校・高等学校

※新型コロナウイルス感染状況により、日程変更の可能性がございます。
必ず各校にお問い合わせください。

平和旬間 2022 - 10 Days for Peace



A Road to Peace : Listening to One Another

互いに耳を傾けて平和への道を



イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

コロナウイルス感染症の影響で開催が中止される場合もありますので、各開催場所へお問い合わせください。

◆姫路西ブロック (相生・赤穂・網干・飾磨・たつの)
連絡先・場所：各小教区へ
黙想とミサ 司祭による講話など

◆姫路 ☎ 079-222-0043
8 / 6 (土) ~ 8 / 15 (月)
テーマ「平和への祈りをミサでつなごう」
月・火・木・金・土曜 7:00 ~ 水曜 18:00 ~
日曜 7:00・9:00・11:00・15:00 (英語) ~
7 月中に信徒全員に平和への祈り (共同祈願) を
募集し、寄せられた祈りを 10 日間に振り分け、
毎日のミサの中でともに祈る。

◆仁豊野 ☎ 079-264-0040 8 / 7 (日)
9:00~11:00 テーマ「私たちは、だれに耳を
傾けるべきなのでしょう」平和祈願ミサ (テ
ーマに関する思いの記された短冊奉納) DVD 鑑賞
「いわたくんちのおばあちゃん〜ぼく、せんそう
せんけえね〜」その後、分かち合い
※7/31(日)DVD 鑑賞 (教会学校生、関係者他)

◆姫路東ブロック (加古川・西脇)
☎ 079-422-2870 場所：加古川教会
平和祈願ミサ 8 / 7 (日)・14 (日)・21 (日)・28 (日)
9:30 ~ 「違いを認め合い、一人ひとりの命を大
切にし、戦争のない平和な世界にしよう」司式：
アルマンド・ロメロ神父
※コロナ感染防止で密を避けるため 4 回の主日
に行く。

◆芦屋 ☎ 0797-22-3982 8 / 6 (土)
「沖縄返還 50 年を迎えて」
〈1 部〉9:00 ~ 9:30 平和への祈り ▶ 場所：芦
屋市役所北広場 (雨天決行) 司式：若林一義牧
師 〈2 部〉10:30 ~ 12:00 平和の集い 歌と朗
読劇 場所：芦屋教会聖堂 主催：芦屋キリス
ト教協議会 共催：社会活動委員会

◆夙川 ☎ 0798-22-1649 8 / 6 (土) ~ 15
(月) 平和旬間日記 2022 とピースツリーづくり
・8 / 7 (日) 10:00 ~ 平和祈願ミサ
・8 / 14 (日) 11:30 ~ 13:00 講演会
講師：ピスカルド篤子さん (シナピス職員)
・7 / 17 (日) ~ 8 / 31 (水) 信徒会館 1 階
「家族とともに平和を考える図書コーナー」開催

◆仁川 ☎ 0798-51-0176 8 / 14 (日)
9:00 ~ 主司式：谷崎 新一郎神父 (コンベンツ
アル聖フランシスコ修道会日本管区長) 今年は
「平和旬間」が定められてちょうど 40 年。奇し
くも聖コルベの祭日 (8 / 14) が平和旬間中の主
日と重なる。周囲に平和をもたらしした神父の「身
代わりの愛の殉教」から、「戦争」がもたらす悲
惨さと「平和への道」を学び、ともに祈る。

◆尼崎 ☎ 06-6481-4235 8 / 7 (日)
①主日ミサ前に信徒でロザリオの祈り一連 (ア
シジの聖フランシスコ「平和の祈り」、「平和と
罪の赦し」、「サルベ・レジナ」含む)
②9:30 ~ 10:30 ミサ 司式：ロッコ・ヴィヴィ
アーノ神父 共同祈願：信徒から募集した平和祈
願を追加。③10:35 ~ 10:45 動画供覧
故小崎登明修道士 (聖母の騎士修道院 / 長崎原子
爆弾被爆者) の話

◆伊丹 ☎ 072-772-2487 8 / 14 (日)
10:30 ~ 講師：篠原富美子さん (国家資格キ
ャリアコンサルタント)

◆武庫之荘 ☎ 06-6431-7029 8 / 14 (日)
9:30 ~ 10:30 教区共通テーマに沿った内容で、
御ミサ中で講話いただき、分かち合いを行う。
講師：主任司祭 ヘスス・モラレス神父

◆池田 ☎ 072-751-2400 8 / 7 (日)
9:00 ~ 平和祈願ミサ 講話：畠基幸神父
ミャンマーに赴任されていた畠神父にミャンマ
ーでの滞在について、また今のミャンマーについ
て思っておられることをお話ししていただく。

◆千里ニュータウン ☎ 06-6832-1111
8 / 6 (土) ~ 15 (日) 平和祈願ミサ 8 / 7 (日)
さまざまな視点から平和を学ぶ【展示】
・「活動」のパネル ACTION ▶ シナピスやカリタ
スなどのカトリックの活動と、民間の活動に NGO
や個人で活動している方の声を紹介します。
・「祈り」のパネル PRAYERS ▶ イスラム教や仏教
の平和について、沖縄からの声や絵を紹介し、
平和を求める祈りの絵も展示します。

◆北地区 (今市・大阪梅田・門真・香里・関目・大東・枚方)
☎ 06-6371-4060 8 / 13 (土) 14:00 ~
テーマ「キリスト者としてのあなたにとっての平
和」7 人の方にそれぞれの立場から語っていただく。
平和への想いに耳を傾けましょう。
平和祈願ミサ 15:30 ~ 司式：酒井俊弘補佐司教

◆堺 ☎ 072-252-1498 8 / 7 (日)
10:00 ミサ 11:00 ~ 12:00 DVD 上映
「戦争童画集 ~ 75 年目のショートストーリー」
(作曲家：坂本龍一、女優：吉永小百合、
映画監督：山田洋次)

◆住之江 ☎ 06-6681-1895 8 / 7 (日)
ミサ後 テーマ：「私は平和を築くためにどう行動
するか」シベリア抑留者の証言動画を視聴し太平
洋戦争やベトナム戦争などの体験または見聞談を
外国人を含め発表いただき、戦争の悲惨さを学び、
私たちは平和を築くためにどのように行動をする
べきか分かち合いを通して決意する機会にしたい。
10:00 ~ 10:40 YouTube 動画「行く先も分から
ずに」を視聴 (シベリア抑留者の証言)
10:40 ~ 11:20 太平洋戦争 (吉村登行さん) ベ
トナム戦争 (サイモンさん) の体験談や体験者又
は親族者から見聞きしたことを発表。11:20 ~
11:45 分かち合い (動画視聴や体験談を聞いて、
私は平和を築くためにどのように行動するかとの
視点)
11:45 ~ 12:00 平和への決意を色紙に書く
(8/15 聖母被昇天のミサで奉納) 祈り

◆なみはや ☎ 06-6551-6253 8 / 14 (日)
10:00 ~ 平和祈願ミサ
11:00 ~ 「真を写する あるポートピープルの生
を追体験する」お話：武永英貴さん (元ベトナム
難民) 生と死の淵をさまようあるポートピープ
ルの記録と記憶をたどり、平和を願う。

◆玉造 ☎ 06-6941-2332 8 / 7 (日) ミサ後
テーマ「戦争を知り、平和を考えよう」
国内外の戦争体験者の話を聞いた後、子どもたち
を交え分かち合い

◆岬 ☎ 072-482-3668 (泉南)
8 / 6 (土) テーマ「信仰と祈りによる励ましと平
和への願い」17:00 ~ 17:15 ロザリオの祈り
17:20 ~ 17:40 講話：最頼巖流神父
17:45 ~ 18:00 聖体降福式
18:00 ~ 18:40 平和祈願ミサ

◆泉南 ☎ 072-482-3668 8 / 14 (日)
9:40 ~ 10:40 テーマ「水瓶を運ぶ人に導かれて」
DVD 鑑賞 古巣馨神父 (長崎教区) のお話

◆紀の川 ☎ 0736-60-8712 8 / 7 (日)
10:30 ~ 12:00 ミサ・講話
講師：最頼巖流神父
平和を願う祈り (アシジの聖フランシスコ)
講話後、信徒は折り紙に思う気持ちを書き、
折り鶴を作る。また折り紙を持ち帰る人は、祈
りを込め鶴を折り次の週に持って来る。
8 月 15 日 (月) 18:00 ~ ミサで奉納

◆浜寺 ☎ 072-261-1563 8 / 14 (日)
お話：中高生会リーダー 伊原 均さん
「岸和田地区 YOUTH の平和体験学習」(8 / 11
開催) として和歌山県にある友ヶ島でおこな
ったデイ・キャンプの様子のお話していただく。
平和への願い・目標を書き、翌日 8/15 の聖母
被昇天祭のミサにて奉納する。

◆岸和田 ☎ 072-437-3308 8 / 21 (日)
10:50 ~ 場所：聖母幼稚園 リズム室
ユース：「平和体験学習 in 友ヶ島」参加者の発
表 日曜学校：子どもたちからの大人に聞か
いたいこと「平和ってどういうこと？」
社会活動：平和を願う祈りを青年や高齢者、さ
まざまな方がささげる。

◆和泉 ☎ 0725-41-5768 8 / 14 (日)
9:30 ~ 10:30 平和祈願ミサ
10:30 ~ 11:30 報告会
テーマ「友ヶ島を通して平和を考える」
お話：中高生より ▶ YOUTH 岸和田友ヶ島平和
学習報告 (約 80 年前の戦争を考える)
大学生 ▶ 五来夏鈴さんより ウクライナ支援
ボランティア報告 (現在の侵略を考える)
質疑応答 祈りの花束を作る

◆貝塚 ☎ 072-422-5639 8 / 7 (日)
10:30 ~
テーマ「難民家族の絆、見守ること、平和への
道を。フランシスコ教皇様のメッセージ、日本
の家族も見守ること、平和の道へ」
平和祈願ミサの中でビデオ上映

◆泉佐野 ☎ 072-463-2971 8 / 7 (日)
8:00・9:30 平和祈願ミサ
YouTube 動画鑑賞「ウクライナの平和のため
にともに祈りましょう」 ロザリオの祈りを唱
える。岸和田地区ユースの活動で、友ヶ島での
デイ・キャンプに参加する

◆熊取 ☎ 072-422-5639 (貝塚) 8 / 7 (日)
8:30 ~ テーマ「難民家族の絆、見守ること、
平和への道を。フランシスコ教皇様のメッセ
ージ、日本の家族も見守ること、平和の道へ」
平和祈願ミサの中でビデオ上映

◆和歌山紀北 ☎ 073-425-1069 (屋形町)
・8 / 6 (土) 9:00 ~ 場所：屋形町聖堂
広島原爆投下の日 平和祈願ミサ
・8 / 7 (日) 「互いに耳を傾けることの大切さと
難しさ」について考える
11:45 ~ 屋形町聖堂 信徒館ホール
発表と分かち合い
・8 / 9 (火) 9:00 ~ 長崎原爆投下の日
平和祈願ミサ
・8 / 15 (日) 聖母被昇天 平和祈願ミサ
古屋教会 8:30 ~ 屋形町聖堂 10:15 ~
海南教会 14:00 ~ 今福教会 16:00 ~

看護に對する強い熱情と信念、豊富な知識と經驗をもつて長年ガラシア病院にて奉職し、病氣で苦しむ弱い人びとに寄り添い博愛と奉仕の精神で後輩の指導にもあたつた。

また、野山に生息する植物を大切にし、詳細に觀察し表現することを楽しんでいた。



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第3編:使徒職

日時 8月はお休み
講師 酒井俊弘補佐司教
場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり
問 ㊦06-6941-9700
主催 使徒職養成委員会

青年と子どもの錬成会

日時 日程変更▶10月9日(日) 9:00~16:30
場所 カトリック布施教会
※詳細は追ってお知らせします。
主催 青少年司牧委員会

結婚準備講座

夙川教会

日時 次回9/4~9/25(日) 4回14:00~15:30
参加費 ㊦5,000(2名)
問 ㊦0798-22-1649

六甲教会

日時 次回2023年2/4~3/25(土)8回 17:30~19:00
参加費 ㊦10,000(2名)
問 ㊦078-851-2846
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家

◆8日間の個人同伴の霊操

日時 【5日間コース】
8/16(火)18:00~8/20(土)朝食
8/21(日)18:00~8/25(木)朝食
【10日間コース】
8/16(火)18:00~8/25(木)朝食
指導 Sr.木村恭子(援助修道会)
田島かなめ(信徒CLC会員)
参加費 【5日間】㊦40,000
【10日間】㊦74,000

◆聖地エルサレムを学ぶ

日時 第3(木)10:00~12:00
指導 笹田六合豊修道士
参加費 ㊦1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・第3(水)10:00~12:00
指導 山内十束神父
参加費 ㊦1,000

問 宝塚黙想の家 ㊦0797-84-3111

講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 毎月第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
〒657-0051 神戸市灘区八幡町4-9-22
参加費 ㊦1,000
問 岩村 ㊦070-5045-7127
主催 神戸国際支縁機構

コレーン神父と学ぶ聖書◆ルカ福音書を共に読む~C年ルカ福音書への導入~

日時 8月はお休み
場所 サクラ ファミリア
参加費 ㊦500
申込 サクラ ファミリア
問 ㊦06-6225-8871
㊦f.sacra@osaka.catholic.jp

聖書講座 和田幹男神父◆聖書研究講座・ヨハネ福音書の序文(ヨハネ1:1-18)

◆新約聖書ギリシア語購読(ロマ書第7章)

◆旧約聖書ヘブライ語購読(創世記第22章)

※8月はいずれもお休み

場所 サクラ ファミリア
問 ㊦06-6225-8871

集い

シナピス主催◆オンライン祈りの集い~世界平和のために祈ろう~

日時 毎月第2木曜日 20:30から30分
テーマ 平和旬間に祈る
参加方法 Zoom (100名まで参加可能)
Zoomミーティング ID:761 071 2034
パスコード:123456
主催 社会活動センター・シナピス
問 ㊦06-6942-1784
㊦06-6920-2203
㊦sinapis@osaka.catholic.jp
HP https://sinapis.osaka.catholic.jp/

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土)14:00~16:00

場所 大阪YCWセンター (またはZoom)
問 レネ神父・水元
㊦072-232-8063
㊦osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。
日時 毎月第2(水)13:00~15:00
場所 教区本部事務局 1階会議室
問 障がい者委員会
㊦dis@osaka.catholic.jp
主催 要約筆記グループ “エッファタ!”

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い
日時 第3(日)14:00~16:00
場所 姫里集会所
申込 吉川まで
問 ㊦078-583-2525

力障連大阪フレンドリー◆点字部の勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時 奇数月・第2(火)13:30~15:00
場所 姫里集会所
申込 笠松まで
問 ㊦090-5661-4324
㊦072-722-0271
㊦kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

病者・障がい者とともに歩むミサ

日時 9月23日(金・秋分の日)14時
司式 前田万葉大司教
場所 大阪カテドラル聖マリア大聖堂
☆YouTube配信あり
☆人数制限あり
☆Zoomでのリモート参加可(要申込)

共同祈願募集
「病者の立場からの祈り」「病者のための祈り」
☆字数は50~200字程度。
ハガキで下記までお送りください。
送付先 教区本部事務局 障がい者委員会宛

神戸バイブル・ハウス

創立20年記念募金のお願い~募集期間:2023年6月末日まで
【送金先】 〈銀行〉ゆうちょ銀行当座預金
〈口座記号〉0098-2 〈口座番号〉282737
〈口座名称〉神戸バイブル・ハウス
【他金融機関からの振込みの場合】
〈店名〉〇九九(読み:ゼロキュウキュウ)
〈預金種目〉当座 〈口座番号〉0282737
〈備考欄〉「記念献金」と記入
問 一般社団法人クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス事務局
〒651-0086 神戸市中央区磯上通4-1-12
㊦078-252-1966 (FAX兼) ㊦kobe-bible-house@maia.eonet.ne.jp

【お詫びと訂正】

・本紙7月号3面「司牧者から若者たちにこの一冊」シスター戸村晴美(誤)なみはや教会担当(正)みなとブロック担当
・6面「教区会計決算報告」【小教区会計について】(誤)1億1,990万円(正)1億990万円
(誤)57,280万円(正)4,728万円
(誤)58,640万円(正)5,864万円
正しくは以下のとおり▼
「コロナ禍前の2018年度と比べますと信徒通常献金1億990万円減少、献金内訳は、教会維持献金4,728万円減、ミサ聖祭献金5,864万円減、大祝日献金399万円減少になりました」。(編集長)

行事等日程

8月			9月		
6	土	主の変容 日本カトリック平和旬間 (~15日迄)	1	木	〔常任司教委員会〕 すべてのいのちを守る ための月間(~10/4迄)
7	日	カンボジア教会の日の献金	4	日	被造物を大切に する世界祈願日
9	火	教区教員養成会 (~10日迄)	14	水	十字架称賛 10時 顧問会 13時 第195回 司祭評議会
15	月	聖母の被昇天 (教区本部事務局 休業)	23	金	14時 病者・障がい者 とともに歩むミサ (カテドラル)
22	月	教区司祭修養会 (~26日迄)			

▽ 学校法人 百合学院 ナーサリ
ーゆりっこ(小規模保育園)
▽ 〒661-0974 兵庫県尼
崎市若王寺2丁目18-10
▽ ㊦06(6499)3531
▽ ㊦06(6499)3532

案内・報告 新設

編集後記

戦国時代と現代、まったく違うように感じますが、意外なところ共通点があります。▼戦国時代が訪れた背景には、応仁の乱から30年間のうちに、室町幕府のもつ「権威」と「勢力」がバランスを失い、畿内を中心とした政情に劇的な変化が生じたことがあったのです。▼室町幕府が権勢を失った原因は、気候変動による飢饉と疫病の流行、食料を得るための戦争の勃発です。「地球温暖化」、「新型コロナウイルス」、「ウクライナでの戦争」と共通点があると思いませんか? ▼しかし、戦国時代は中世的なあり方から脱却する「革新と創造の時代」でもありました。現代世界を襲う混乱から、新しい世界秩序が生まれる、そんな希望を持ち続けたいものです。

(広報委員会 川邨裕明)

司教予定 (左記「行事等日程」以外)

・8/5(金) 広島平和祈願ミサ (前田万葉大司教・酒井俊弘補佐司教)
・8/6(土) 原爆と戦争の犠牲者のためのミサ
・8/13(土) 大阪北地区平和ミサ(酒井俊弘補佐司教)
・8/15(月) 宝塚教会 堅信式(前田万葉大司教)
・8/15~17 韓国ソウル SIGNIS世界大会(酒井俊弘補佐司教)
・8/25~9/1 パチカン 枢機卿会(前田万葉大司教)

大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療
ホスピス(緩和ケア)
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会
理事長 前田万葉 大司教
チャレン 松本信愛 神父

〒562-8567
箕面市栗生間谷西6-14-1
㊦072-729-2345

医療法人ガラシア会

